Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology 福岡工業大学
この件のお問い合わせは入試広報課へ
TEL ：092-606-0607
MAIL：nkouhou@fit.ac.jp

掲示期間　2026-146
11 月 04 日～ 11 月 26 日

FIT-gPBL　-工学部「国際工学実習」-

電子情報工学科 × 台湾・宜蘭大学
福岡工業大学と宜蘭大学にてプログラムを実施しました

本学では、グローバルな視点を養い、世界で活躍できる人材・技術者の育成を目指しています。その教育の一環として、工学部では 2017 年度より、協定校をはじめとする海外の学生とともに具体的な課題に主体的に取り組む「グローバル PBL（課題解決型学習）」を実施してきました。本プログラムを修了した学生の一部には、共通科目「国際工学実習」として 2 単位が認定されます。今年度は、その取り組みの一つとして、電子情報工学科と協定校である台湾・宜蘭大学の学生が互いの大学を訪問し、共同でプログラムを行いました。

2026 年 8 月 1 日（土）～14 日（金）の 14 日間、工学部電子情報工学科と台湾・国立宜蘭大学（National Ilan University, NIU）との間で、国際共同学習プログラム「FIT-Global PBL 2026」を実施しました。

本プログラムには、本学から 2 年生 3 名（田中滉偉さん、林琥珀さん、中丸伊歩樹さん）、3 年生 6 名（山下海希さん、近藤彩斗さん、渡邊竜也さん、佐野友樹也さん、山口恒大さん、藤嶋奏さん）、大学院修士 2 年生 1 名（長濱幸輝さん）の計 10 名が参加し、宜蘭大学電気情報学部の学生 10 名と合わせて総勢 20 名が 5 つの混成チームに分かれて活動しました。

今年度は「Development of an AI-Based Electronic Nose for Liquid Classification（AI を活用した液体識別用電子鼻システムの開発）」をテーマに、ガスセンサと Arduino を用いた測定装置の製作、データ収集、機械学習による液体試料の識別に取り組みました。


修了認定証の授与

プログラム開始当初は、言葉や文化の違いもあり、学生たちに少し緊張した様子が見られましたが、初日の歓迎 BBQ をきっかけにすぐに打ち解け、活発に交流するようになりました。プログラム前半は福岡工業大学で実験装置の設計・製作や予備実験を行い、8 月 7 日からは宜蘭大学で測定とデータ解析を進めました。学生たちは英語で議論を重ねながら協力して課題に取り組み、8 月 13 日には各チームが成果を英語で発表しました。

また、湯布院での研修や、台湾でのフィールドトリップも実施しました。台湾では「宜蘭虎牌米粉觀光工廠」「水岸森林休閒農場」「金車カバラン蒸留所」などを訪れ、夜市では現地の食文化を体験しました。自由行動日には、一部の学生が十分駅でのランタン飛ばしや十分瀑布、猴硐（猫村）などの観光も楽しみました。

今回のプログラムでは、学生同士の間に深い友情が育まれたことも大きな成果となりました。さらに、昨年度の参加学生もわざわざ駆けつけ、お土産を持参して今年度の学生たちと交流するなど、年度を超えたつながりも見られました。

本プログラムを通じて、学生たちはセンサ技術や AI に関する実践的な知識を深めるとともに、異文化交流や英語での共同作業を通じて国際的な視野を広げる貴重な経験を得ることができました。

グループ活動







